

CLUSTERPRO

MC RootDiskMonitor 2.0

for Windows

インストールガイド

© 2015(Mar) NEC Corporation

- ☐ はじめに
 - ☐ 製品導入の事前準備
 - ☐ 本製品のインストール
 - ☐ 本製品の初期設定
 - ☐ 本製品のアンインストール
 - ☐ 本製品のアップデート
- インストール

改版履歴

版数	改版	内容
1.0	2015.3	新規作成

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.0 for Windows（以後 RootDiskMonitor と記載します）のインストール方法および初期設定手順について説明します。

（1）商標および登録商標

- ✓ Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ Windows Server 2008 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 です。
- ✓ Windows Server 2012 の正式名称は、Microsoft Windows Server 2012 です。
- ✓ CLUSTERPRO X は日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ この製品には Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェア(log4net)が含まれています。著作権、所有権の詳細につきましては、本製品をインストール後、以下の LICENSE ファイルを参照してください。
【インストールフォルダ】¥HA¥RootDiskMonitor¥bin¥LICENSE.txt
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. はじめに.....	1
2. 製品導入の事前準備.....	2
2.1. 準備するもの	2
2.2. 動作要件.....	4
3. 本製品のインストール	5
3.1. インストール.....	5
3.2. インストール後の確認.....	10
3.3. ファイル構成	12
4. 本製品の初期設定.....	13
4.1. 設定ファイルの自動生成	13
4.2. 設定ファイルの適用	13
4.3. サービスの起動.....	13
5. 本製品のアンインストール	14
5.1. ファイルのバックアップ	14
5.2. アンインストール.....	15
6. 本製品のアップデートインストール	17
6.1. アップデートインストール.....	17
6.2. アップデートインストール後の確認.....	18

1. はじめに

本書は、本製品のインストールおよびアンインストールを行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

本書での表記規則について、下記のように定義します。

記号表記	使用方法	例
『』	画面名の前後	『プログラムと機能』が表示されます。
「」	参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル名の前後	「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.0 for Windows インストールガイド」を参照してください。 「2.1 のインストール媒体の構成図」を参照してください。
【】	ファイル名およびフォルダ名の前後	【インストールフォルダ】¥HA¥RootDiskMonitor ¥conf¥rdm.config
[]	項目名の前後	[プログラムと機能] を選択してください。
斜体、太字	ボタン名	OK を押してください。

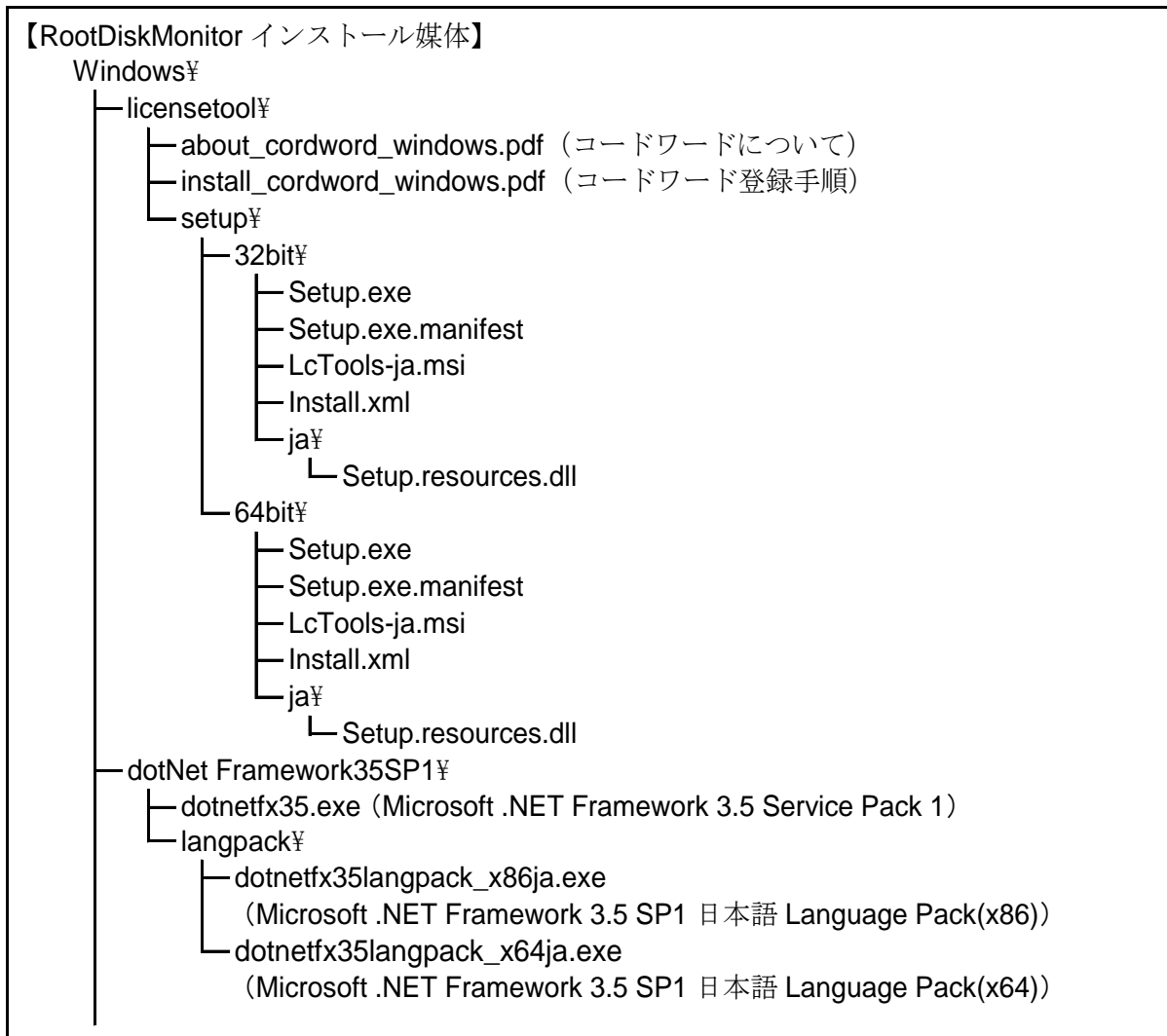
2. 製品導入の事前準備

2.1. 準備するもの

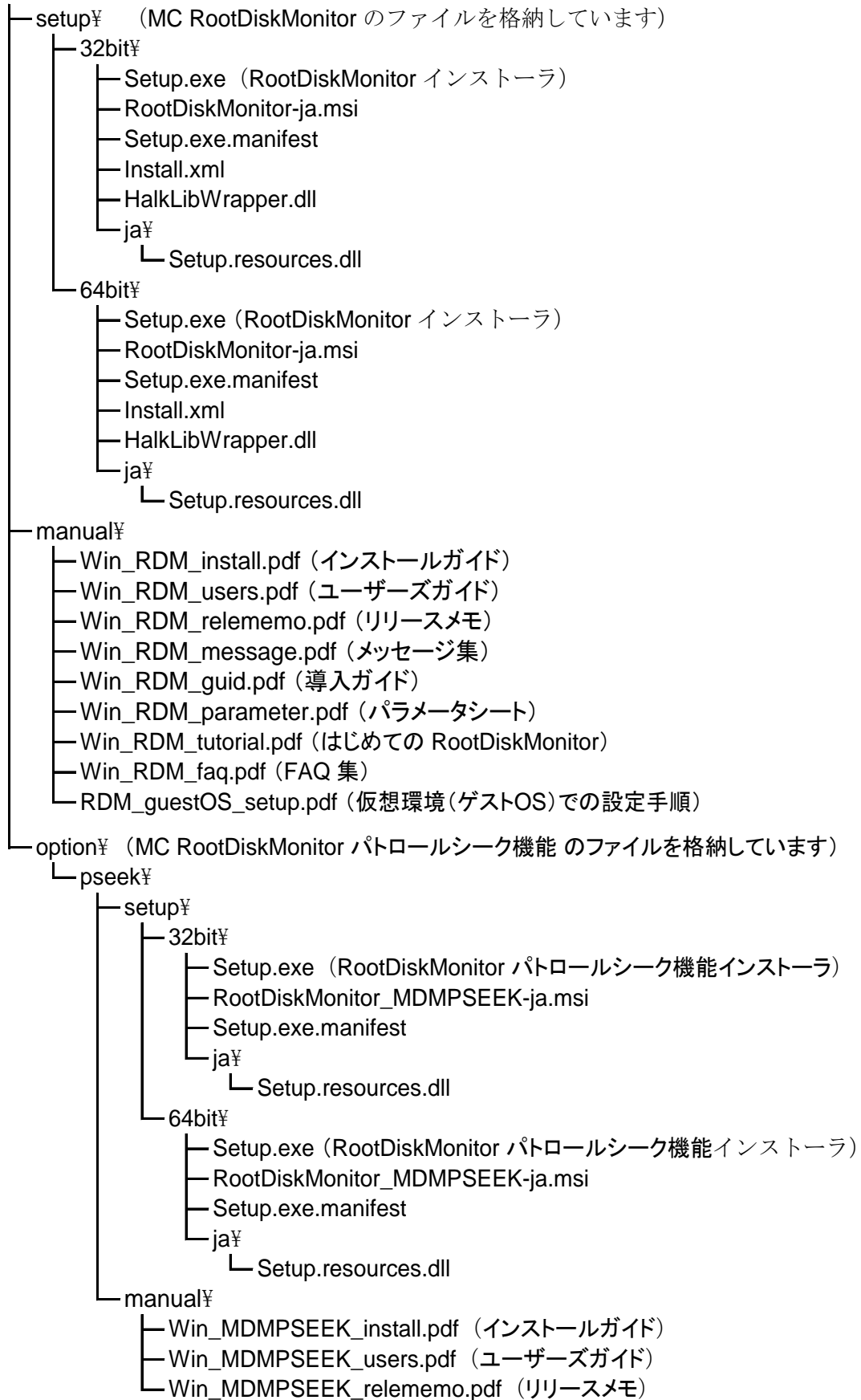
本製品が含まれるインストール媒体を用意してください。

本製品のインストーラおよび各コンポーネントが、次のとおりインストール媒体に収録されていることを確認してください。

・インストール媒体の構成図



※次ページに続きます。



2.2.動作要件

(1) ソフトウェア要件

本製品の動作環境として Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 が必要となります。
本製品を導入する場合は、事前にインストール媒体に同梱している下記ソフトウェアを
インストールしてください。

- ・Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1
- ・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack

注意

- ・Microsoft .NET Framework のバージョンは、必ず 3.5 を使用してください。
- ・Microsoft .NET Framework 3.5 をインストールしていない状態で、本製品はインストールできません。
- ・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack については、32 ビット OS 用と 64 ビット OS 用の 2 種類を同梱していますので、それぞれの環境に合わせてインストールを実施してください。
- ・環境により、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールすると、自動で Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack がインストールされる場合があります。

3. 本製品のインストール

3.1. インストール

本製品のインストール手順について説明します。

-
- 注意
- ・インストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。
 - ・OS 上に Microsoft .NET Framework が全くインストールされていない状態で、本製品のインストールを開始しますと、「アプリケーションの初期化に失敗しました。」というメッセージが表示されます。その場合は「2.2 動作要件」(3) で説明した Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 を先にインストールしてください。
 - ・インストール前にライセンスツールのインストールと、コードワードの登録を行ってください。手順は、「コードワードについて」と、「コードワード登録手順」を参照してください。
-

- (1) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (2) 媒体に格納されている【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1 準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。32 ビット OS と 64 ビット OS では使用する【Setup.exe】が異なりますので、ご使用の OS にしたがって選択してください。

実行すると下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。



図 1 インストーラ準備画面

- (3) インストール先のフォルダを指定します。
指定したフォルダ配下に “HA¥RootDiskMonitor” フォルダが作成され、
各ファイルがそのフォルダにインストールされます。
デフォルトのインストール先フォルダは、Windows がインストールされているドライブ
(%WINDIR%)の Program Files フォルダ、通常は “C:¥Program Files” です。

デフォルトの設定でインストールする場合は、**次へ(N)** を押してください。

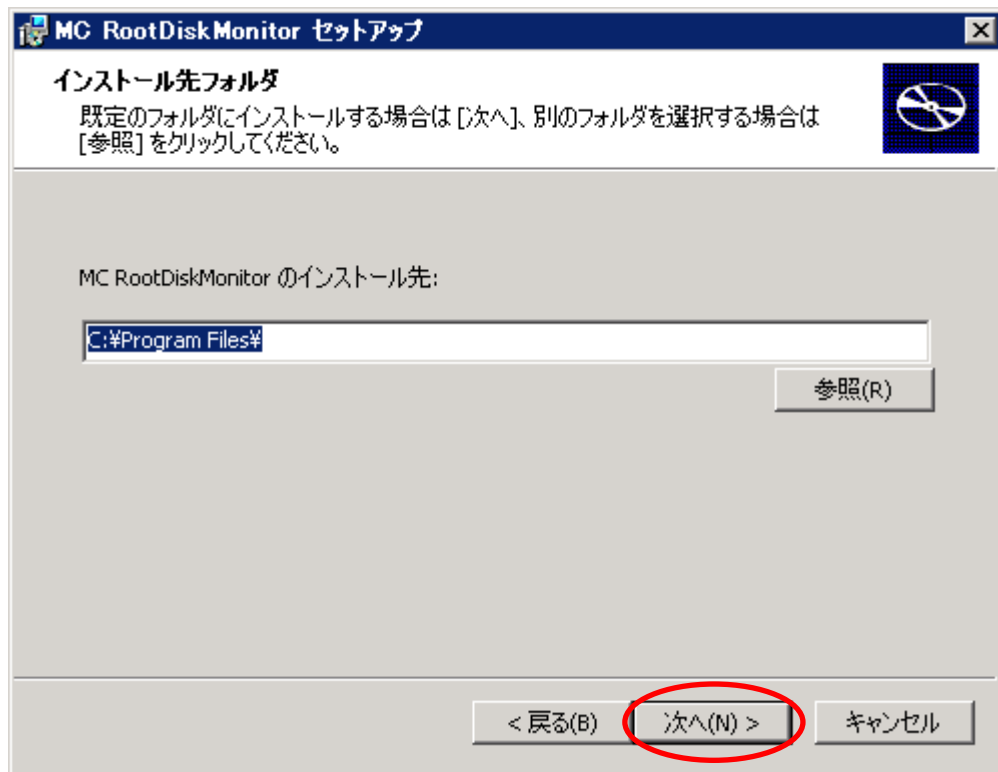


図2 インストール先のフォルダ表示画面

インストール先を変更する場合は、直接インストール先を入力するか、**参照(R)** を押してください。
参照(R) を押した場合、下記画面が表示されます。
インストールするフォルダを入力もしくは選択して、**OK** を押してください。

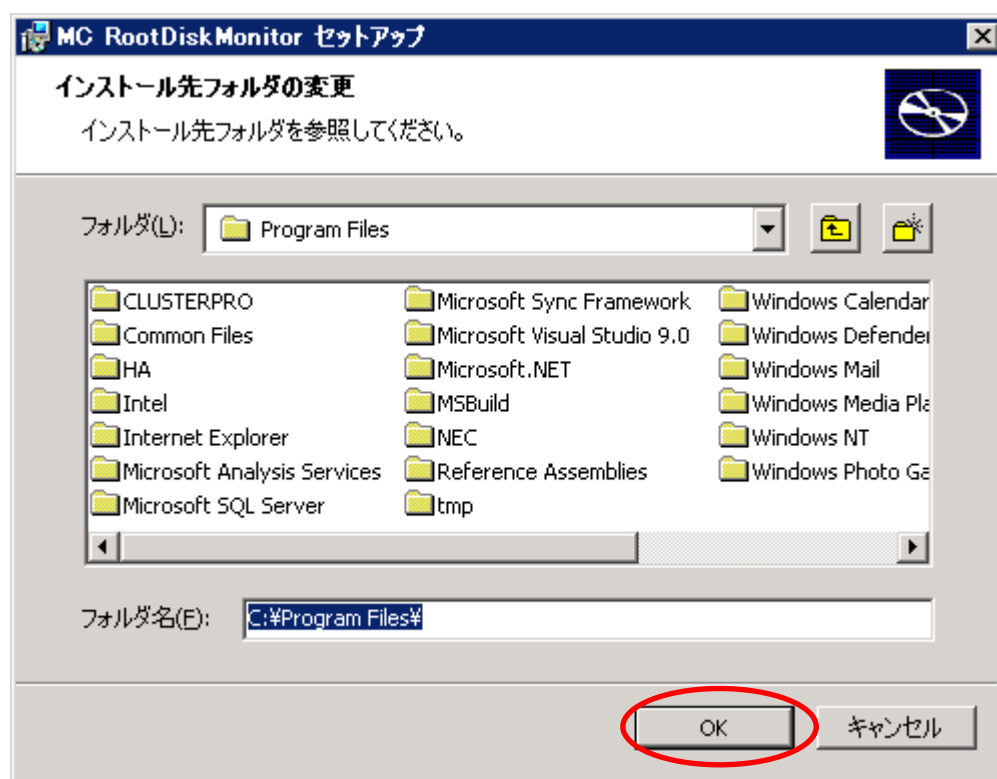


図3 インストール先のフォルダ変更画面

注意 インストール先のフォルダには、ネットワークドライブ上のフォルダは指定できません。必ずローカルドライブ上のフォルダを指定してください。

- (4) **インストール(I)** を押してインストールを開始してください。

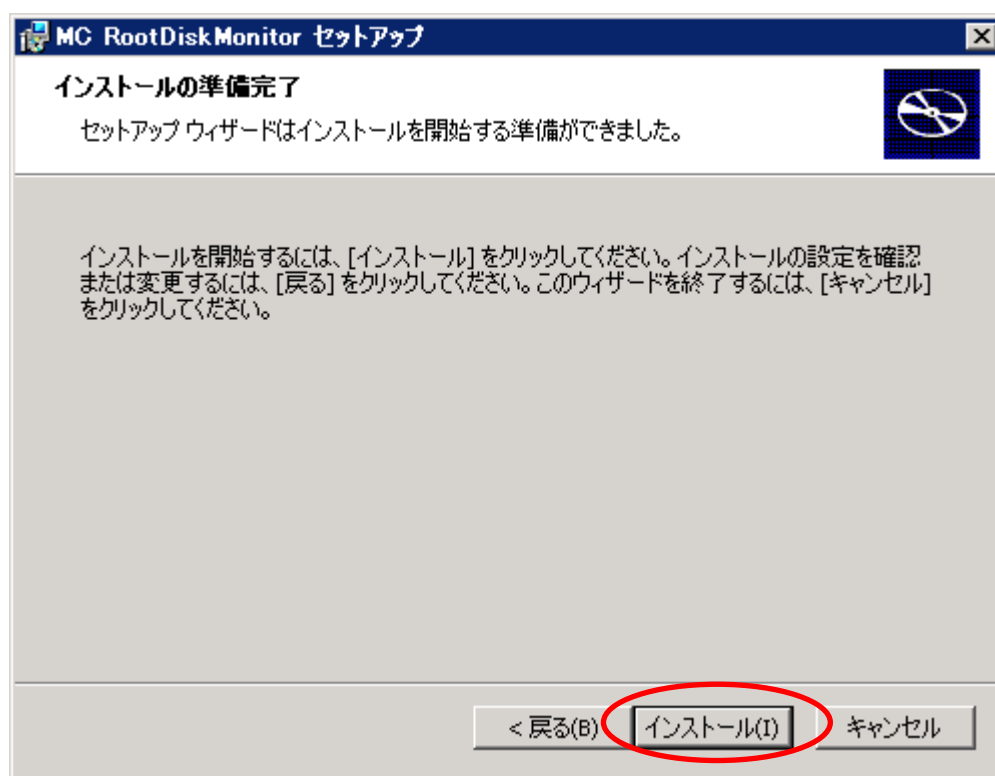


図4 インストール開始画面

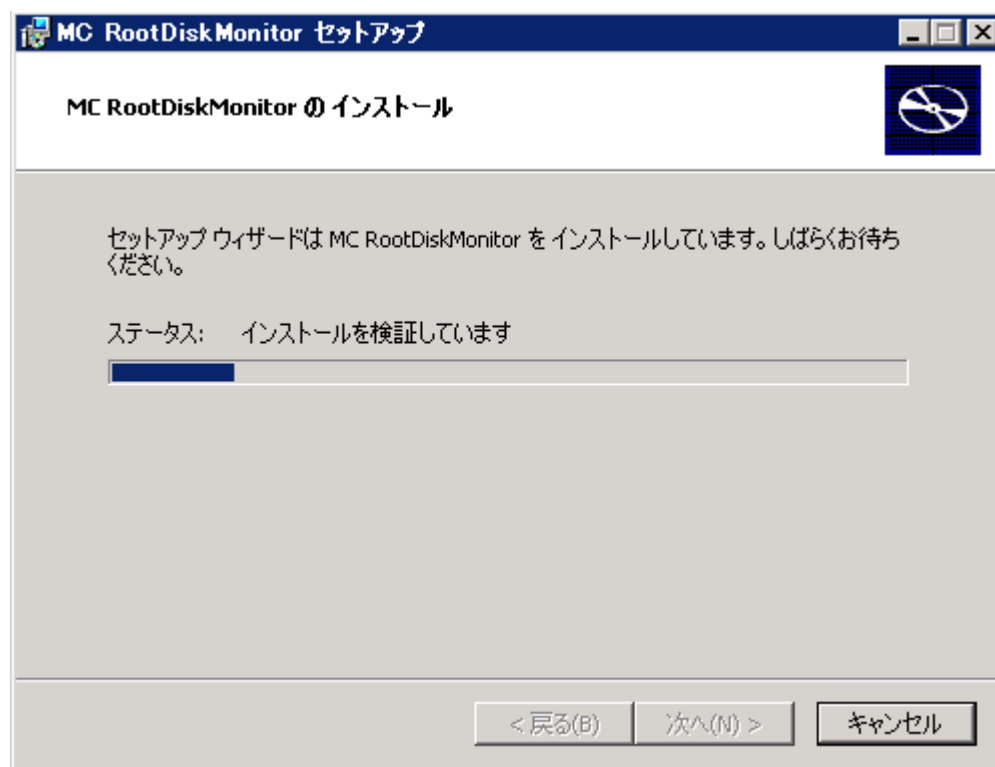


図5 インストール中の状態

- (5) 本製品のインストールが完了すれば、下記画面が表示されます。
完了(F) を押して【Setup.exe】を終了してください。



図6 インストール完了画面

以上で、本製品のインストールは終了です。

3.2. インストール後の確認

- (1) 『プログラムと機能』で本製品がインストールされていることを確認してください。
スタートメニューから [コントロール パネル] – [プログラムと機能]
上記手順により、下記画面を表示します。
一覧に [MC RootDiskMonitor] が登録されていることを確認してください。

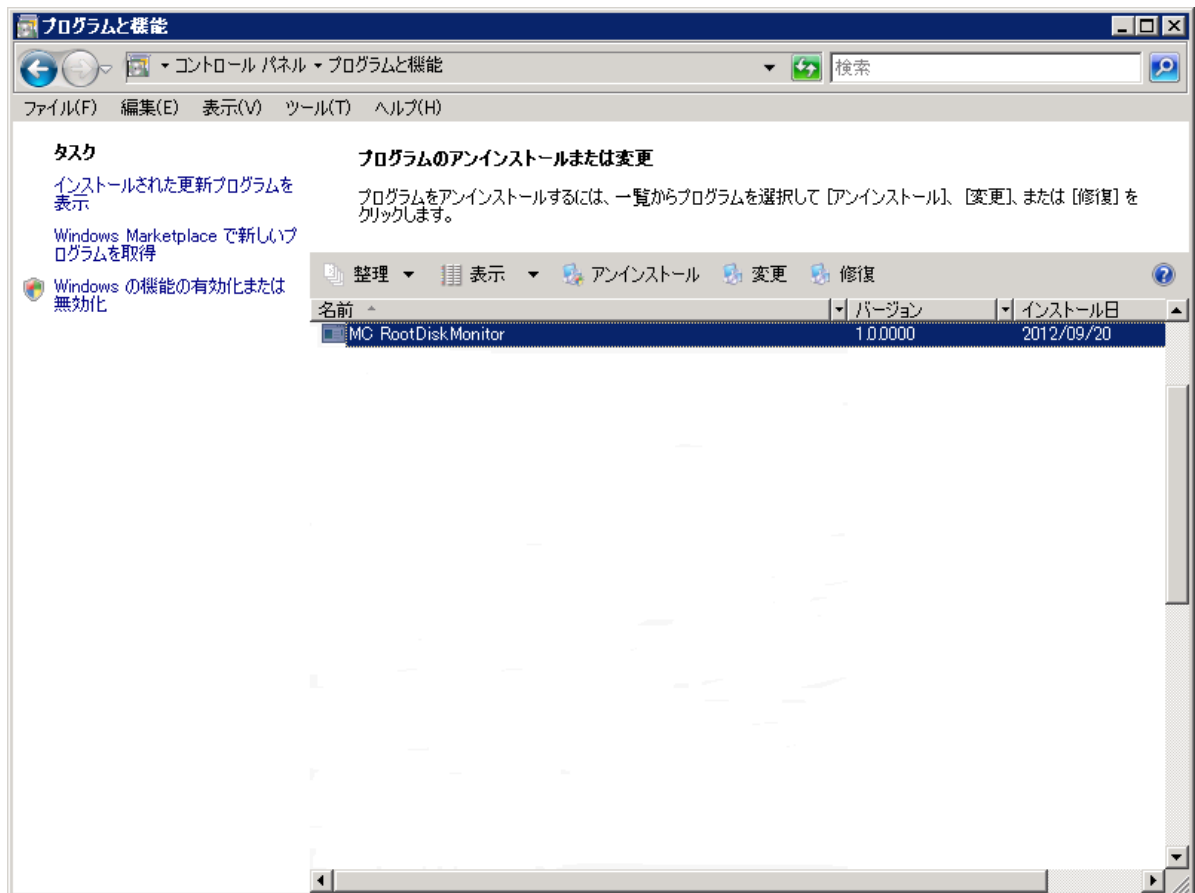


図7 『プログラムと機能』

(2) 『サービス』に本製品のサービスが登録されていることを確認してください。

[スタート] メニュー – [コントロール パネル] – [管理ツール] – [サービス]

上記手順により、『サービス』を表示します。『サービス』で表示される内容が下記と同じことを確認してください。

- ・ [名前]: [HA RootDiskMonitor]
- ・ [スタートアップの種類] :[自動]

注意 インストール直後には、サービスを自動起動しません。設定ファイルの設定後、個別にサービスを起動してください。
設定ファイルの設定やサービスの起動については、「MC RootDiskMonitor 2.0 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

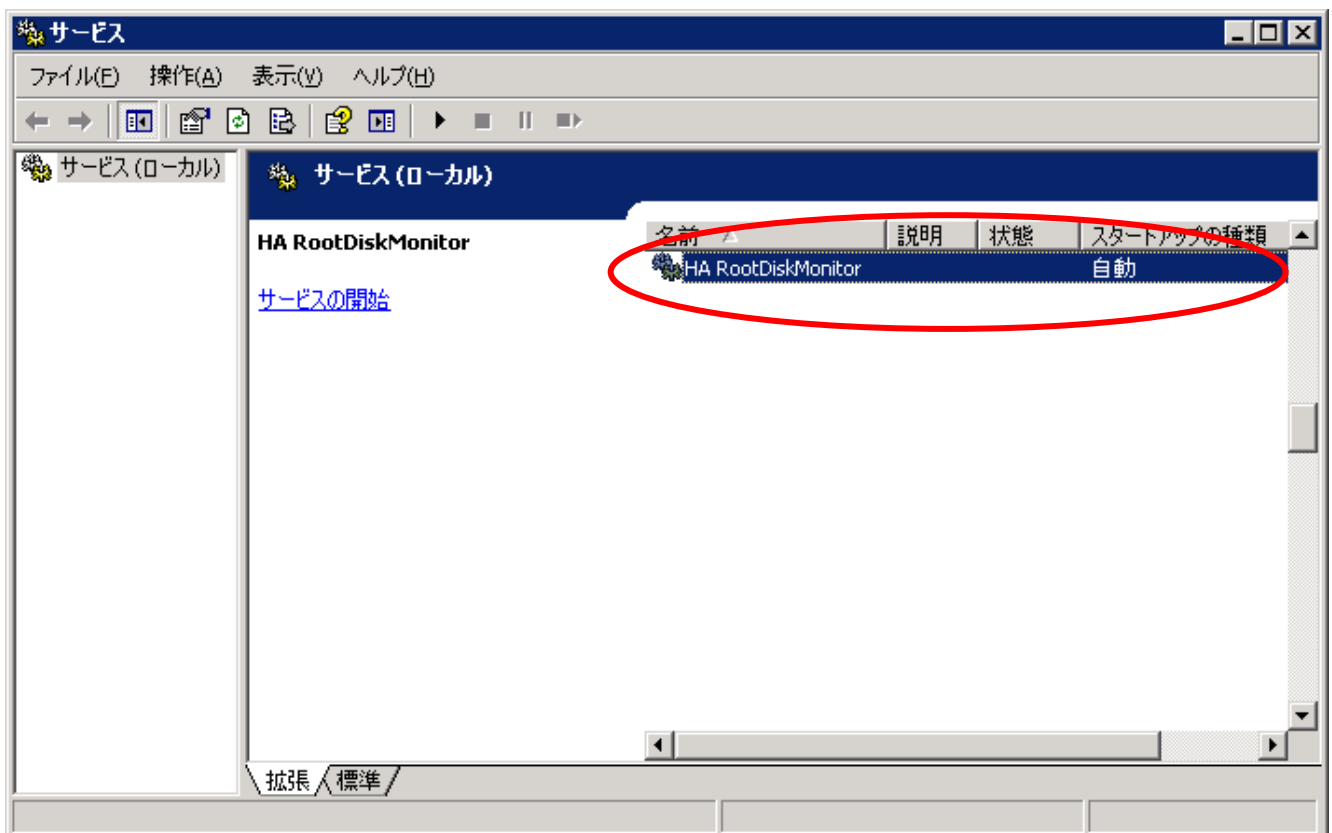


図 8 『サービス』

3.3.ファイル構成

下記のとおり本製品がインストールされていることを確認してください。

【インストールフォルダ】 ¥

└─ HA ¥

└─ RootDiskMonitor ¥

└─ bin ¥ (実行形式ファイルを保存しています。)

└─ ja ¥

- └─ Common.resources.dll
- └─ Communication.resources.dll
- └─ Configuration.resources.dll
- └─ ConfigurationFile.resources.dll
- └─ Rdmadmin.resources.dll
- └─ Rdmconfig.resources.dll
- └─ Rdmdiagd.resources.dll
- └─ Rdmping.resources.dll
- └─ Rdmstat.resources.dll

- └─ Rdmadmin.exe
- └─ Rdmconfig.exe
- └─ Rdmdiagd.exe
- └─ Rdmstat.exe
- └─ Rdmadmin.exe.config
- └─ Rdmconfig.exe.config
- └─ Rdmdiagd.exe.config
- └─ Rdmstat.exe.config
- └─ RdmCommon.dll
- └─ Common.dll
- └─ Communication.dll
- └─ Configuration.dll
- └─ ConfigurationFile.dll
- └─ HalkLibWrapper.dll
- └─ iotest.dll
- └─ log4net.dll
- └─ RdmLog.dll
- └─ Rdmping.dll
- └─ tiowrapper.dll
- └─ WorkingSetConfig.dll
- └─ log4net.xml
- └─ LICENSE.txt

└─ conf ¥ (設定ファイルを保存しています。)

└─ sample ¥

└─ rdm.config

└─ log \ (トレースログファイルを保存しています。)

※【インストールフォルダ】のデフォルトパスは、"C:¥Program Files" です。

4. 本製品の初期設定

4.1. 設定ファイルの自動生成

Rdmconfig コマンドを実行して、監視に必要な 設定ファイルを自動生成します。
オプションの詳しい指定方法については、
「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.0 for Windows ユーザーズガイド」を参照してください。

4.2. 設定ファイルの適用

Rdmconfig コマンドで自動生成した 設定ファイルを実行環境に適用します。
適用方法については、「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.0 for Windows ユーザーズガイド」を
参照してください。

4.3. サービスの起動

HA RootDiskMonitor サービスを起動し、本製品による監視を開始します。

以上で、本製品の初期設定は完了です。

5. 本製品のアンインストール

5.1. ファイルのバックアップ

設定ファイルやログファイルが必要な場合は、事前にバックアップしてください。
バックアップ対象のパスは下記のとおりです。

設定／ログファイル

【インストールフォルダ】¥HA¥RootDiskMonitor 配下

・conf

設定ファイルを保存しています。

・log

トレースログファイルを保存しています。

※【インストールフォルダ】のデフォルトパスは、"C:¥Program Files" です。

補足 インストール後に作成されたフォルダやファイルは削除されません。

5.2. アンインストール

本製品のアンインストール手順について説明します。

注意 ・アンインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザーで行ってください。

- (1) 下記手順により本製品のアンインストールを行います。
[スタート] メニュー → [コントロール パネル] → [プログラムと機能] を
選択してください。
- (2) 『プログラムと機能』が表示されますので、[MC RootDiskMonitor] を選択し、
アンインストール ボタンを押してください。

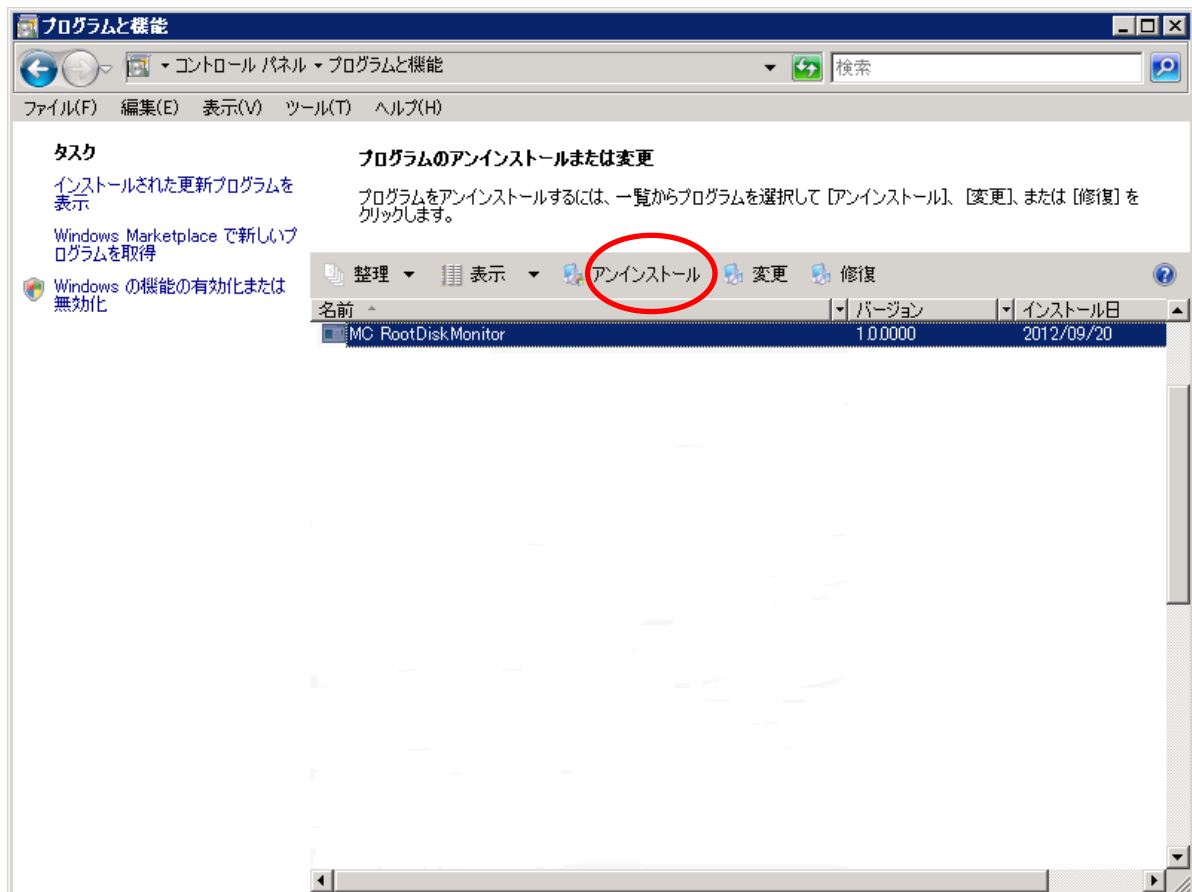


図9 『プログラムと機能』

- (3) **アンインストール** ボタンを押すと下記画面が表示される場合があります。
はい(Y) を押すと本製品のアンインストールが開始されます。

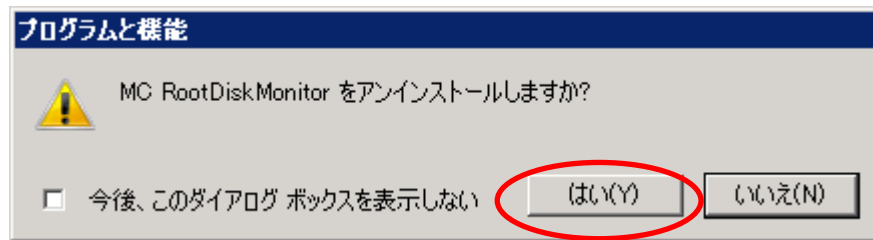


図 10 削除確認画面

- (4) 不要なファイルを削除します。
アンインストールにより削除されるのは、インストール時に作成されたフォルダおよびファイルのみです。
設定ファイル・ログファイルなど運用時に作成されたファイルについては、削除されません。
これらのファイル(インストールフォルダ配下) が不要な場合は、削除してください。

注意 上記アンインストール作業では、下記のソフトウェアは削除されません。

- ・ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1
 - ・ Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 日本語 Language Pack
-

以上で、本製品のアンインストールは終了です。

6. 本製品のアップデートインストール

6.1. アップデートインストール

本製品のアップデートインストール手順について説明します。

注意 ・アップデートインストール作業は必ず Administrator 権限を持つユーザで行ってください。

- (1) 本製品を起動している場合は、本製品のサービス [HA RootDiskMonitor] を停止してください。
- (2) 本製品が含まれるインストール媒体を CD/DVD ドライブに挿入してください。
- (3) 【Setup.exe】を実行してください。
※【Setup.exe】の所在については、「2.1. 準備するもの」のインストール媒体の構成図を参照してください。32ビット OS と 64ビット OS では使用する【Setup.exe】が異なりますので、ご使用の OS にしたがって選択してください。

実行すると下記画面が表示されますので、**はい(Y)** を押してください。

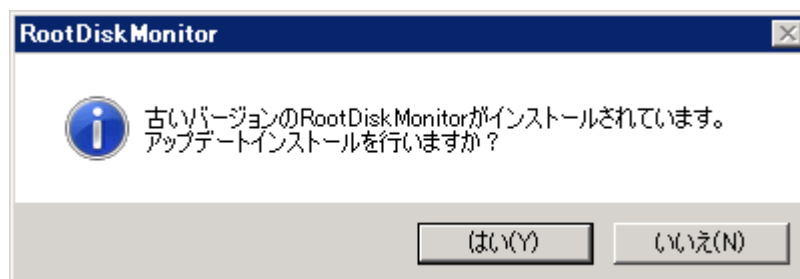


図 11 アップデートインストール確認画面

インストールされている本製品のバージョンがアップデートインストールしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合、以下のメッセージを出力します。

OK を押して、アップデートインストールを終了してください。



図 12 インストール中止のメッセージ画面

- (4) 下記画面が表示されますので、**次へ(N)** を押してください。



図 13 インストーラ準備画面

- (5) 以降の手順は、「3.1. インストール」の(3)から(5)と同様です。

以上で、本製品のアップデートインストールは終了です。

6.2. アップデートインストール後の確認

アップデートインストール後の確認は「3.2. インストール後の確認」と同様です。

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.0 for Windows
インストールガイド

2015 年 3 月 第 1 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番地 1 号
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2015

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙